

令和5年度の復興基金事業の進め方

令和5年7月



1. 監修会議とワーキング部会の構成と役割

- 監修会議では、学識有識者7人のほか、関係機関を協力委員として配置。【設置要綱 第3条】
- 監修会議は、製作及び監修方針をとりまとめる場であり、各分野の監修に係る詳細事項については、ワーキング部会（以下「WG部会」という。）にて検討する。【設置要綱 第2条及び第6条】
- 各分野のWG部会には、技術継承を図るため、若手を1名程度含める。

首里城復興基金事業 監修会議 【年2回程度開催】

製作及び監修方針をとりまとめる場
(1)製作体制及び製作作業工程に関すること。
(2)監修方法及び監修頻度に関すること。

| | | | |
|----|---------|--------|-----------------------|
| 委員 | 歴史(琉球史) | 田名 真之 | 前沖縄県立博物館・美術館 館長 (委員長) |
| | 歴史(漆工史) | 安里 進 | 沖縄県立芸術大学 名誉教授 |
| | 歴史(文化史) | 波照間 永吉 | 沖縄県立芸術大学 名誉教授 |
| | 彫刻・焼物 | 西村 貞雄 | 琉球大学 名誉教授 |
| | 彫刻・焼物 | 波多野 泉 | 沖縄県立芸術大学 学長 |
| | 染 織 | 寺田 貴子 | 活水女子大学 特別専任教授 |
| | 瓦 類 | 与座 範弘 | 沖縄県立芸術大学 工芸専攻非常勤講師 |

※協力委員6人（県・国の関係部局より）

各分野の WG部会

彫刻WG部会

大龍柱・御差床など

西村 貞雄
波多野 泉
砂川 泰彦★
歴史系委員1名以上
製作技術者の代表

焼物WG部会

龍頭棟飾・鬼瓦

西村 貞雄
波多野 泉
森 達也★
歴史系委員1名以上
製作技術者の代表

瓦類WG部会

屋根瓦・磚など

与座 範弘
花城 可英★
歴史系委員1名以上
製作技術者の代表

染織WG部会

垂飾（瓔珞）

寺田 貴子
久保 智康★
歴史系委員1名以上
製作技術者の代表

【年2回程度+適宜開催】

製作や監修方法等の詳細検討

分野別の専門家（2～3人）、歴史系委員1人以上、製作技術者の代表で構成

※WG部会のみ参加の学識者は★

※WG部会のみ参加の学識者は★
所属は令和5年度時点更新

彫刻WG部会

| 専門分野 | 名前 | 所属 |
|---------|--------|----------------|
| 彫刻・焼物 | 西村 貞雄 | 琉球大学 名誉教授 |
| 彫刻・焼物 | 波多野 泉 | 沖縄県立芸術大学 学長 |
| 彫刻 | 砂川 泰彦★ | 沖縄県立芸術大学 教授 |
| 歴史(琉球史) | 田名 真之 | 前沖縄県立博物館・美術館館長 |
| 歴史(漆工史) | 安里 進 | 沖縄県立芸術大学 名誉教授 |
| 歴史(文化史) | 波照間 永吉 | 沖縄県立芸術大学 名誉教授 |

焼物WG部会

| 専門分野 | 名前 | 所属 |
|---------|--------|----------------|
| 彫刻・焼物 | 西村 貞雄 | 琉球大学 名誉教授 |
| 彫刻・焼物 | 波多野 泉 | 沖縄県立芸術大学 学長 |
| 焼物 | 森 達也★ | 沖縄県立芸術大学 副学長 |
| 歴史(琉球史) | 田名 真之 | 前沖縄県立博物館・美術館館長 |
| 歴史(漆工史) | 安里 進 | 沖縄県立芸術大学 名誉教授 |
| 歴史(文化史) | 波照間 永吉 | 沖縄県立芸術大学 名誉教授 |

瓦類WG部会

| 専門分野 | 名前 | 所属 |
|---------|--------|--------------------|
| 瓦類 | 与座 範弘 | 沖縄県立芸術大学 工芸専攻非常勤講師 |
| 瓦類 | 花城 可英★ | 沖縄県工業技術センター 主任研究員 |
| 歴史(琉球史) | 田名 真之 | 前沖縄県立博物館・美術館館長 |
| 歴史(漆工史) | 安里 進 | 沖縄県立芸術大学 名誉教授 |
| 歴史(文化史) | 波照間 永吉 | 沖縄県立芸術大学 名誉教授 |

染織WG部会

| 専門分野 | 名前 | 所属 |
|---------|--------|----------------|
| 染織 | 寺田 貴子 | 活水女子大学 特別専任教授 |
| 金工 | 久保 智康★ | 京都国立博物館 名誉館員 |
| 歴史(琉球史) | 田名 真之 | 前沖縄県立博物館・美術館館長 |
| 歴史(漆工史) | 安里 進 | 沖縄県立芸術大学 名誉教授 |
| 歴史(文化史) | 波照間 永吉 | 沖縄県立芸術大学 名誉教授 |

3. 令和5年度の検討スケジュール

| 検討項目 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 備考 |
|-------------|-------|-------|-------|-------------------|-------|----|-----|-----|-----|----|----|-------|--------|
| 事前レク | | ■ | | | | | | | | | | | 1～2回 |
| 製作及び監修方針の検討 | ■ | | | | | | | | | | | | |
| 技術継承方法の検討 | ■ | | | | | | | | | | | | |
| 監修会議 | | | | ●7/20監修会議（通算：第3回） | | | | | | | | ●監修会議 | 2回 |
| 彫刻WG部会 | | ●5/17 | ●6/27 | ●7月下旬 | | | | | ■ | | | | 4～5回程度 |
| 焼物WG部会 | ●4/25 | | ●6/19 | ●7月下旬 | | | | ■ | | | | | 4～5回程度 |
| 瓦類WG部会 | | ●5/12 | | | ●8月下旬 | | | | ■ | | | | 3回程度 |
| 染織WG部会 | | | | ●8月上旬 | | | ■ | | ■ | | | | 3回程度 |
| 製作及び監修 | ■ | | | | | | | | | | | | |

| 月 | 会議名 | 議論テーマ（案） |
|-------|----------|---|
| 7月頃 | 第1回 監修会議 | <ul style="list-style-type: none"> 監修会議及びWG部会の進め方の確認 製作体制について 各WG部会における検討状況の確認 首里城復興基金による材料調達の進捗状況の報告 情報発信に関する意見交換 |
| 4月～2月 | 各ワーキング部会 | <ul style="list-style-type: none"> 各分野の制作物を対象に、進捗に合わせて製作・監修方針の詳細を検討 |
| 2月頃 | 第2回 監修会議 | <ul style="list-style-type: none"> 各WG部会の検討動向、製作・監修事項の報告 次年度に向けた検討事項の確認 今回製作された記録、関係資料の活用や情報発信方法について |

4. 本会議における検討内容

- 令和5年度の監修会議等の検討事項は、以下のとおり。

1. 製作・監修方針の検討【監修会議、WG部会】

- 首里城正殿の復元工程に合わせ、国から提供された仕様をもとに、首里城復元に係る制作物を円滑に製作できるように、監修会議・WG部会、その他関係者等との調整のもと、製作及び監修方針を検討する。
- 製作及び監修方針については、以下の事項等を中心に検討する予定。

①製作及び監修体制の検討 ②製作作業期間（作業工程）の再設定

▶製作体制について（資料2）

③引渡しまでの製作工程（原型等準備含む）の検討

▶WG部会別の検討状況を報告（資料3～6参照）

2. 次世代への継承【監修会議、WG部会】

- 本事業が将来の技術継承に資するよう、製作過程の記録撮影（動画・静止画）等を行うが、製作時に準備された下絵や石膏原型等を含め、製作記録の情報発信及び活用・保管方法について検討を行う。

▶現時点の記録撮影状況を踏まえ、情報発信の考え方について意見交換（資料8参照）

3. 製作・監修【WG部会】

- 製作作業期間を勘案の上、今年度に必要となる製作作業（下絵・石膏原型の作製、材料確認や試作を含む）及びその監修を行う。
- 監修については、各WG部会にて対応予定。

▶WG部会の検討状況にて報告（資料3～6参照）

4. 材料調達【監修会議では報告】

- 沖縄県首里城復興基金では、制作物の材料とあわせ、木材及び石材等の調達を行う。監修会議では、その状況を適宜報告する。

▶第2回監修会議(R5.3)以降の調達状況を報告（資料7参照）